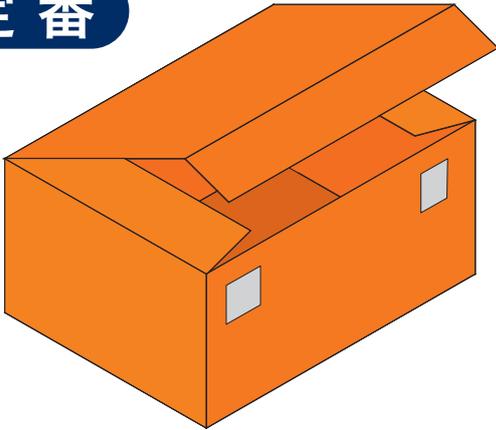


C式 (お弁当箱)

出し入れしやすいシンプルさ、特殊サイズ (薄型、長尺) にも対応

定番



続き蓋タイプ

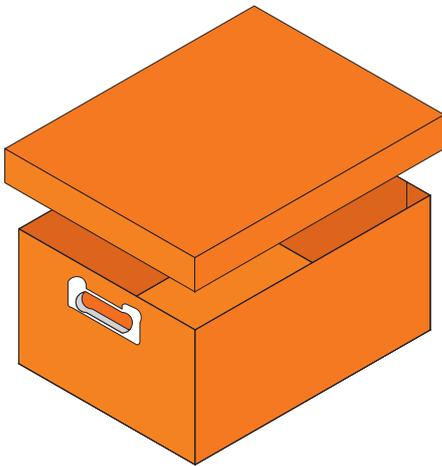
蓋が片側開きになっており、手前にフラップがなく間口が広いので、中身の出し入れがしやすい仕様です。蓋が根本でつながっており、紛失防止にもなります。

スクリーンやバナー、ポールなど細長い物の収納にオススメの仕様です。



C式

続き蓋タイプ



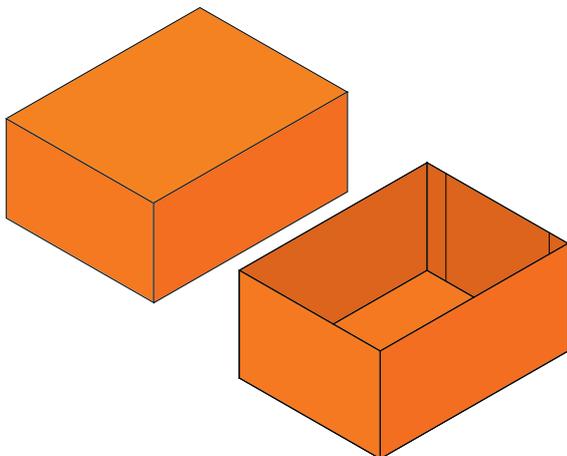
被せ蓋タイプ

開口部を蓋で覆うため、ケース内への埃などの侵入を対策したい方にオススメの仕様です。面ファスナー不使用で蓋を付けたい場合にも適しています。蓋を外せるため、中身の出し入れがしやすい仕様です。



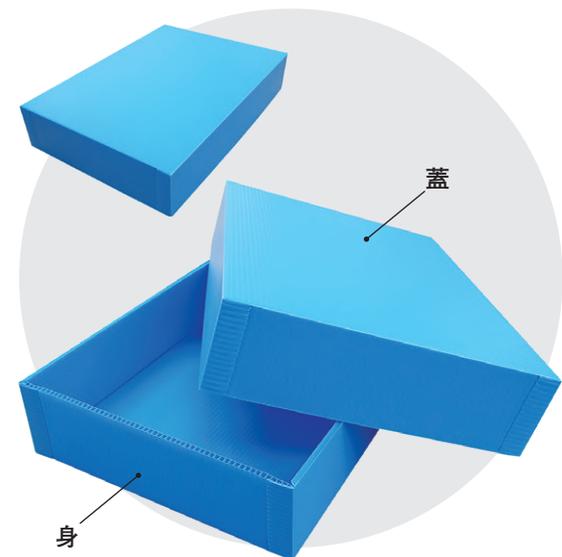
C式

被せ蓋タイプ



共蓋タイプ

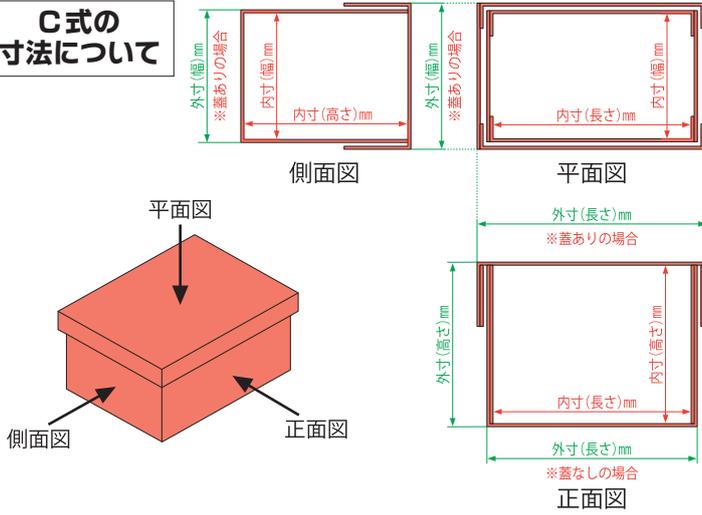
被せ蓋タイプの中でも、身と蓋の高さが同じタイプの仕様です。高さの低い箱に多く使われ、薄く平たい物を収納する際にオススメの仕様です。



C式

共蓋タイプ

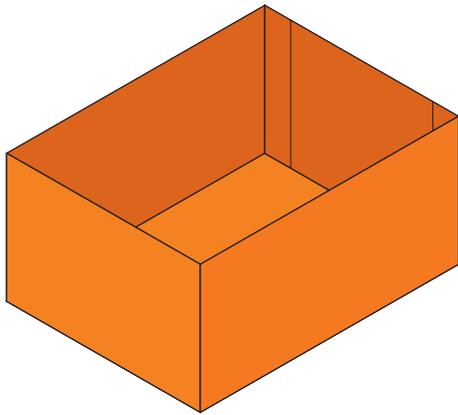
C式の寸法について



内寸
内側のサイズです。

外寸
箱の蓋をかぶせた時の一番外側のサイズです。
蓋がないときは、身の箱の外側です。

補足
部材（鉄・取手・バックルなど）を含まない寸法となります。詳細な寸法をご希望の方は、別途にご相談となります。
各寸法は、理論上の数値となっています。プラダンの性質上、若干の誤差（±10ミリ程度）は、ご容赦ください。
※寸法厳守とした場合、内寸は三辺それぞれ+10ミリ、外寸は三辺それぞれ-10ミリの設計となります。

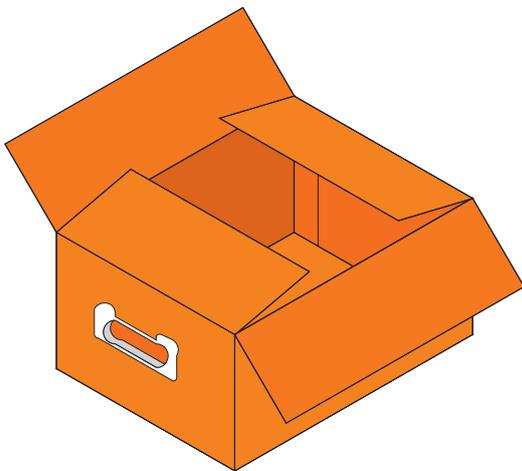


蓋無しタイプ

蓋が無いので、中身をすぐに取り出しやすい仕様です。
引き出しやトレイなどに適しています。



C式 蓋無しタイプ



突合せ蓋タイプ

蓋をA式（みかん箱）と同じタイプにした仕様です。
蓋が一体になっており、紛失防止にもなります。
続き蓋に比べ蓋の長さが短いため、作業スペースが限られている場合にオススメの仕様です。



C式 突合せ蓋タイプ